



## 明らかな誤りの訂正請求書

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 国際出願の表示 PCT/JP03/06221

2. 出 願 人 (代表者)

名 称 有限会社 瀬戸口総研

Setoguchi Laboratory Ltd.

あて先 〒166-0015

日本国東京都杉並区成田東3-27-3

27-3, Naritahigashi 3-chome,

Suginami-ku, Tokyo 166-0015,

JAPAN

国 籍 日本国 Japan

住 所 日本国 Japan

3. 代 理 人

氏 名 (8744) 弁理士 川久保 新一



KAWAKUBO Shinichi

あて先 〒160-0004 日本国東京都新宿区四谷2丁目4番12号

大久保ビル6階

6th Floor Ookubo Bldg. 4-12,

Yotsuya 2-chome, Shinjuku-ku,

Tokyo 160-0004 JAPAN

4. 訂正の対象 請求の範囲

5. 訂正の内容 別紙のとおり

## 請 求 の 範 囲

- (1) 形状を生成／表示するに必要な基本形状となる多角形状の平面パッチの各頂点上に、接平面と等価な法線を設定し、上記設定した法線を、等価な接平面上で、所与の方向に分解し、接線を設定する段階と；  
対応する二つの頂点の間に新たなる接平面と等価な法線を設定する位置と、二つの対応する頂点の関与する方向に接線を特定する段階と；  
を有することを特徴とする面形状生成／表示方法。
- (2) 所与の法線と特定した位置情報と接線情報とに基づいて、特定した位置に、接平面と等価な法線を設定することを特徴とする面形状生成／表示方法。
- (3) 所与の法線と特定した位置情報とに基づいて特定した位置に、接平面と等価な法線を設定することを特徴とする面形状生成／表示方法。
- (4) 請求項(2)または(3)において、  
所与の法線の存在する頂点を組み合わせ、それぞれ所与の各頂点に存在する法線を等価な接平面上で分解し、二つの頂点の間に新たなる接平面と等価な法線を設定する位置と二つの対応する頂点の関与する方向に接線を特定することを特徴とする面形状生成／表示方法。
- (5) 請求項(4)において、  
必要な形状生成／表示精度に達するまで、上記所与の法線の存在する頂点を組み合わせ、それぞれ所与の各頂点に存在する法線を等価な接平面上で分解し、二つの頂点の間に新たなる接平面と等価な法線を設定する位置と二つの対応する頂点の関与する方向に接線を特定する動作を繰り返し、  
所望の形状を生成表示することを特徴とする面形状生成／表示方法。
- (6) 多面体を構成する各基本パッチにおいて、法線を具備する基本パッチを選択する手段を有し、  
上記選択された基本パッチについて、上記必要な形状生成／表示精度に達するまで、上記所与の法線の存在する頂点を組み合わせ、それぞれ所与の各頂点に存在する法線を等価な接平面上で分解し、二つの頂点の間に新

たなる接平面と等価な法線を設定する位置と二つの対応する頂点の関与する方向に接線を特定する動作を繰り返し、所望の形状を生成表示する操作を逐次的にかつ再帰的に制御することにより、所望の面形状を生成／表示することを特徴とする面形状生成／表示システム。

- (7) 多面体を構成する各基本パッチにおいて、法線を具備する基本パッチを選択する手段を有し、

上記選択された基本パッチについて、上記必要な形状生成／表示精度に達するまで、上記所与の法線の存在する頂点を組み合わせ、それぞれ所与の各頂点に存在する法線を等価な接平面上で分解し、二つの頂点の間に新たな接平面と等価な法線を設定する位置と二つの対応する頂点の関与する方向に接線を特定する動作を繰り返し、所望の形状を生成表示する操作を逐次的にかつ再帰的に制御することにより、所望の面形状を生成／表示することを特徴とする面形状生成／表示プログラムの記憶媒体。